

STEP3 パラグラフ展開を正しく追い、話題となっている事柄についてまとめる 20分

STEP3では、パラグラフ展開を正しく押さえた上で、「話題となっている事柄について簡潔にまとめる問題」に取り組んでみよう。

各パラグラフのトピックと、パラグラフ間のつながりを意識する

STEP1と**STEP2**で確認してきたことだが、まずは各パラグラフのトピックと、それらがどのように展開していくかを押さえるのが最優先である。これはすなわち、筆者がどのような論法を用いて、何を主張しているのか（＝**筆者の意見**）を読み取ることである。英文中で説明されているある事柄についてまとめたり、英文全体を要約したりする問題では、筆者が用いる論法と「筆者の意見」から外れないようにすることが重要である。

具体例は排除して共通項を抽出する

STEP2でも確認したように、具体例は筆者の主張などを読者によりわかりやすく伝えるために用いられるもので、**たいていの場合は具体例を包括、もしくは一般化した表現（＝共通項）がある**はずなので、その部分をうまく用いてまとめるのがよい。具体例そのものについて問われている場合は、例示されている内容に具体的にふれることになる。

Point ある事柄について簡潔にまとめる際のコツ

《5》話題となっている事柄について簡潔にまとめる問題では、原則として具体例の部分は共通項となる内容を取り出し、個別の具体例については排除する。

ただし、抽象的な表現をただ訳出しただけでは何を言いたいのか伝わりにくい場合も多いので、**具体例を参考にしながら自分の言葉でわかりやすく噛み砕いて表現する**ことが必要である。

話題となっている事柄についてまとめてみよう

Process

【1】各パラグラフのトピックとパラグラフ展開を踏まえて、どのような流れで解答をまとめるかイメージする

STEP1と**STEP2**で学んだことを活かしてパラグラフ展開を押さえた上で、**設問指示を確認して「何についてまとめるか」を把握**し、ポイントとして何を盛り込むかイメージする。

【2】具体例の部分を排除しつつ、解答に必要な箇所を取捨選択してまとめる

字数制限が設けられている場合は、その中に収まるように解答に盛り込む内容の調整が必要だが、逆に言えば字数から何を解答に盛り込むべきかを特定していくこともできる。具体例の部分は、**Point《5》**を参考に、個々の具体例を包括する表現や一般化した表現を用いて解答をまとめる。